

地方創生事業好事例紹介

じばにむし

じばにむしレビュー 第1回

地域活性ビジネスの長期サイクル化を目指す「地域活性プロモーター」 鈴木グループ

鈴木印刷株式会社
所在地：栃木県宇都宮市平出町 3751-11
代表者：代表取締役社長 鈴木 晴久
従業員数：32名 (2020年1月現在)

地域密着であらゆる課題の解決を目指す

栃木県宇都宮市に本社を置く鈴木印刷株式会社。その Web サイトのトップページにある「事業紹介」のタブを開くと、先ず「販売促進」というメニューから始まっている。次に「フリーペーパー『トチペ』」、「WEB サービス」、「CI・VI・BI」等合わせて9つのメニューが並び、そのメニューの一番最後に「総合印刷」とあるのが印象的だ。

一見すると広告代理店のような「事業紹介」の隣には、「問題解決」というタブが並び、この「問題解決」には6つのメニューが用意されている。「信頼 Shinrai」、「お客様サポート User」、「時間 Zikan」、「売上アップ Uriage」、「組み合わせ Kumiwase」、「イメージ Image」。鈴木印刷の社名にあやかり、S・U・Z・U・K・I として訴求している問題解決のメニューは、「地域」・「人」・「企業」のハブとなるため、皆様のあらゆるニーズを魅力ある「コンテンツ」に最適に加工すること。そして、プラスアルファの「付加価値」を加えることで売り手や買い手、地域がともに充足し、社会貢献に繋げることを目的として設定されている。

代表取締役社長の鈴木晴久氏は、「地域密着であらゆる課題を解決できる会社を目指し挑戦を続けており、様々なお客様の「困った」を解決していくことで栃木の皆様に貢献していきたい」と述べている。

新商品開発を計画していた栃木県の舞茸製造販売会社 A 社は、加工品の卸先を探していた。一方、同じ県内の製麺会社 B 社では、品質の良い材料を探していた。この両社の架け橋となって、在庫不足となるような注目の新商品「舞茸うどん」を誕生させたのが鈴木印刷だ。企業間のハブ、そして地域のハブとなって両者の「困った」を解決したこの取り組みは、「組み合わせ Kumiwase」という問題解決の一例であり、ビジネスマッチングという手法による地域活性化事業の好例でもある。

地域密着のフリーペーパー月刊情報誌「トチペ」

鈴木グループの一員、株式会社カレンテックスでは、ホームページの制作、コンテンツマネジメントシステムツールの提案やオンラインショップ構築の提案など、デジタルメディア事業とともに、紙メディアも含めたクロスメディアブランディングによる企業価値向上の提案をしながら事業展開を図っている。

そんなカレンテックスが手掛ける生活応援情報マガジン「トチペ」は月刊



舞茸うどん

誌として毎月10万部を発行し、コンビニ、スーパーをはじめ、金融機関、カメラ店、スポーツ店、美容室、カラオケ、道の駅や農産直営所のほか、各飲食店など県内約 1,400 拠点に配布・設置。そのハケ率は 99%以上 (2019年12月現在) と地域に欠かせない生活情報メディアとなっている。

「トチペ」は、表紙込み 32 ページのスペースに、地域に密着した、ぐるめ・健康・エステ・美容・旅・生活・自然・人などの情報がぎっしりと詰め込まれている。購買意欲が高く好奇心が旺盛な 20 代から 40 代の働く女性 (主婦含む) をコアターゲットとして明確に押し出しているところにひとつの特徴がある。

そして、もうひとつの特徴が、アナログの紙メディアに留まらず、カレンテックスが得意とするクロスメディア戦略を展開していることだ。「トチペ」の電子ブックを掲載するとともに、広告主へのホームページ制作やネットプロモーションの提案を行うなど広告ビジネス以外にも自社メディアを有機的、戦略的に活用している。更には、「トチペ」の Web サイト上に店舗情報の無料掲載用「スポット情報登録フォーム」を用意し、将来的にクロスメディアの顧客となるターゲットへの戦略的なリーチも欠かせない。



トチペ

農業の6次産業化支援事業

鈴木印刷のお客様の「困った」を解決していく事業は、農林漁業者、農業法人にまで及んでいる。

6次産業化とは、農林水産業等の第1次産業が製造・加工業といった第2次産業、販売業等の第3次産業等を行うことで、経営の多角化、収益力向上等を目指す取り組みだ。「1+2+3=6」あるいは「1×2×3=6」で6次産業化と呼ばれる。

鈴木印刷では、この6次産業化の過程で悩む農林漁業者や農業法人に寄り添った事業を展開している。6次産業化の基礎を学ぶ研修会の開催、経営ビジョンの策定から商品開発の実践的な支援、開発した商品の PR や販路拡大の提案等だ。

その一例が、鈴木晴久社長が理事長を務める「とちぎ農業ネットワーク企業組合」。栃木県産の美味しいものだけを厳選し、原材料となる農産物の栽培行程や加工方法、商品ラベルまでを確認した安全安心な商品「テロワール」ブランドを立ち上げ、その販売サイトを運営。県内外のマーケットと農業生産者のハブとなり、新たな製造方法の開発による新商品、植物性乳酸菌発酵フルーツ「ラブフル」の開発。その他、地域製品の販売促進事業等を展開し、成果を上げている。

「地域」・「人」・「企業」のハブとなり、地域活性化ビジネスの長期サイクル化を目指す「地域活性プロモーター」鈴木グループの今後に期待したい。



ラブフル